

令和3年 5月25日

図書館だより



輪之内中学校図書館

読書に最適な季節!

新緑の清々しい季節を堪能することもなく、例年より3週間も早く梅雨入りとなってしまいました。

「晴耕雨読」という四字熟語があります。晴れた日は、田畑を耕し、雨の日は、読書にいそしむこと。世俗から離れた悠然とした生活や、田園での老後の静かな暮らしをさす意味もあります。

読書には最適な季節の始まりです。去年あまり本を読めなかった人も、たくさん読んだ人も、梅雨のこの季節に本にいそしんでください。

先日、「いぶき」・「ひびき」のみなさんが季節の壁面飾りを届けてくださいました。早速、梅雨の作品を飾りたいと思います。ありがとうございました。

課題図書を紹介

with You

今年度の課題図書の内容を紹介します。



母親の介護に携わる「ヤングケアラー」の少女・朱音に恋をした中学生の悠人の物語を通して、「誰かを大切に思うこと」を描く。

アーニャは、きっと来る

第2次世界大戦中のフランス山間部の村。羊飼いの少年ジョーはユダヤ人の子どもたちの亡命に手を貸すことになる。ドイツ兵が駐留する中、村人が心を一つにして立ち上がる。映画にもなった感動作。



牧野富太郎

日本植物学の父

学歴はなくても、誰にも負けない情熱がある！日本全国の野山を駆け巡り、数多くの新種を発見・命名をした牧野富太郎の人生を描きます。



※ 自分に合った本を選んで読書感想文にトライしましょう。

申し遅れました、学校司書の高木です。明るく楽しい図書館づくりをしていきたいと思えます。コロナ禍ですので、手洗い・消毒や、図書館のルールを守って利用してください。図書館でお待ちしています。

次回みなさんのアンケートの結果を報告する予定です。お楽しみに！